

1 リンリンのお嫁入り

飼育展示担当 佐藤 光

昨年の11月12日、盛岡市動物公園からアミメキリンのリンリン(メス3才)が大森山動物園にやってきました。

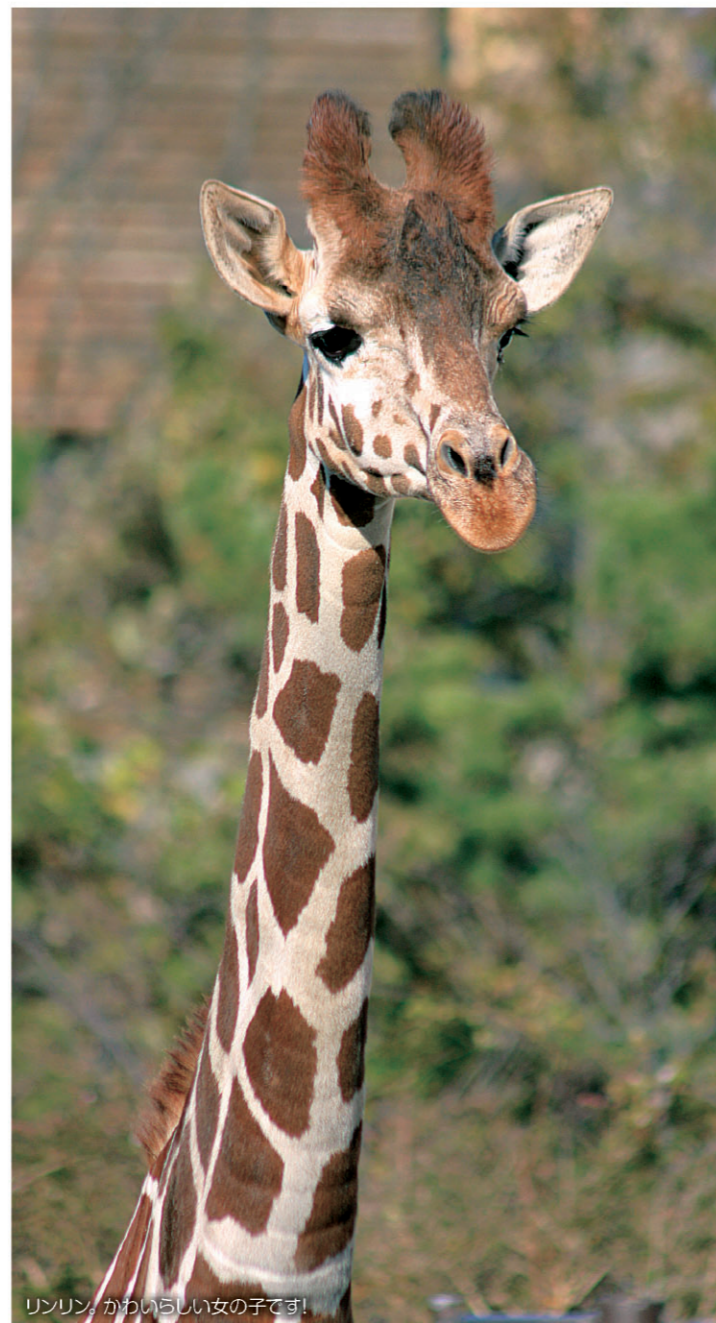
その日のリンリンは、長い時間の輸送がストレスとなったのか、目つきが鋭く、頬や目の上にはシワができ、ヨダレまで垂らしていました。また、輸送箱への出入りや輸送途中に激しく暴れたため、ケガを負っている心配もありました。

しかし寝部屋に入ると、顔つきは変わらないものの、少しではありますがリンゴや乾草を食べるなどして、だいぶ落ち着いています。また、心配していたケガもありませんでした。そして日が経つにつれ、若い雌らしいもとの優しい顔に戻り、餌も良く食べるようになりました。

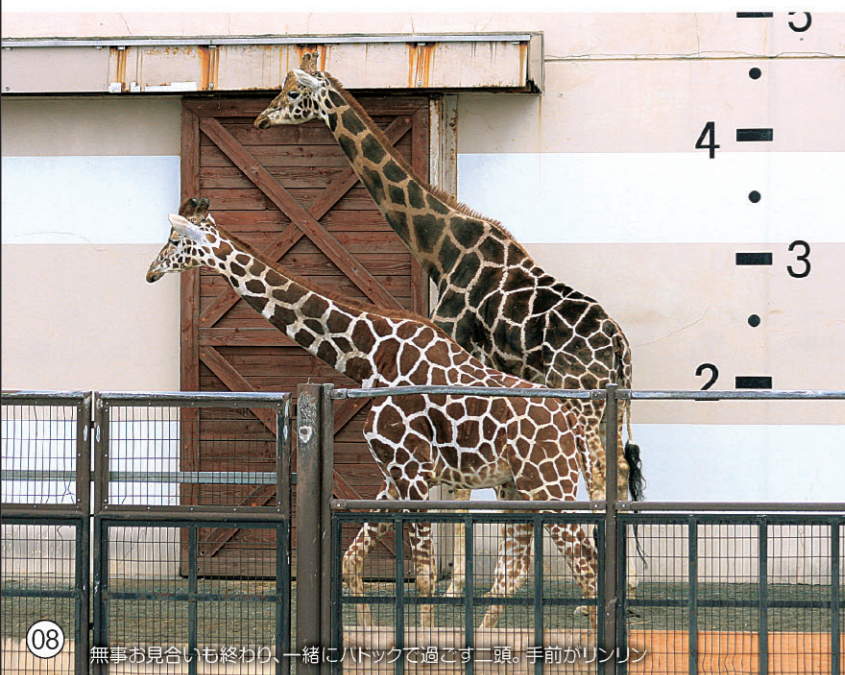
リンリンは、人や車の動き、物音にも敏感に反応して、耳をピクッと動かし、ときには驚いて飛び跳ねるような動きをすることもあります。

また、ジュン(オス15才)の姿が見えているときは、素知らぬ顔をして普通にしていますが、見えなくなった途端、不安そうな顔をして、尋常ではないほどに走り回ります。見ているこちらがケガをしないかと不安になるほどです。

来園した当初は、活発で人馴れもしていて、元気な個体だと思っていましたが、本当は人一倍、いや、キリン一倍臆病で神経質であることがわかってきました。まだまだ心配ごとは尽きませんが、暖かくなる頃には新しい環境にも馴れて、間近でご覧いただけます。みなさんに愛されることはもちろんですが、ジュンとの赤ちゃん誕生にも期待したいところです。



リンリン、かわいらしい女の子です!



リンリン 搬入時の様子



搬入日に無事、室内に搬入されたリンリン



柵越しにジュン(左)とお見合い



走り回るリンリン

2 ホシガメの赤ちゃん誕生

飼育展示担当 佐藤 由香利

大森山動物園で飼育しているホシガメは、これまでも産卵することはありませんでしたが、どれも無精卵であったため孵化することはありませんでした。しかし、昨年の9月に産卵したものは有精卵らしく、今度こそ赤ちゃん誕生と期待に胸がふくらみました。

カメの孵化日数は温度や環境に大きく左右されるうえ、90日から180日と長い日数がかかります。その間はライトで保温するとともに、湿度が下がらないように気をつけながら、毎日様子を見守りました。

12月に入り、朝いつものように卵を覗くと、殻が破れているではありませんか!! 割れ目から小さな脚が見えたときには、「ついに産まれた!」と大喜びしました。そして、その1時間後には両前脚と頭が見え始め、全身が出てきたのは発見してからおよそ6時間後でした。その後、更に2個の卵が孵化し、全部で3匹の仔ガメが誕生しました。

仔ガメの大きさは3.6cmとピンポン玉くらいで、体重は15.5gととても小さいのですが、しっかりとカメの姿をしています。お腹にはまだ卵黄嚢(栄養が詰まった袋のようなもの)がついており、これが完全に吸収されるまでは何も食べずに過ごします。1週間後には卵黄嚢も消え、成長した個体と同様に野菜や果物などを食べるようになりました。

今はまだ保育器の中で飼育をしていますが、みなさんにお見せできる日も近いと思います。その時は、可愛い仔ガメ達の姿をどうぞ見てあげてください。



元気にエサを食べています



ふ化する時の様子



生まれた時は体長3.6cm



お腹についている黄色い塊が卵黄嚢

飼育日誌から

(H20年9月~H21年1月)

飼育職員が日々記録している飼育日誌の一部を抜粋してご紹介します。

- 9月 5日 ● ビーバー お見合いを続けていたが、モリコ(♀)と仔とマリオ(♂)を同居。全頭落ち着いている。
- 9月 7日 ● コモンマーモセット母 展示場でうすくまる。妊娠中で1匹逆子で死産。保育器にて保温。抗生剤等を処置。
- 9月 8日 ● コモンマーモセット母 難産。1匹お腹に入っているが、分娩困難。助産処置を試みるが、呼吸停止。蘇生処置するも死亡。
- 9月 14日 ● ヘンギン 室内集4ヒナ フールにて初めて泳ぐ。
- 10月 18日 ● レッサバパンダ(♂1頭)を千葉市動物公園、ニホンリス(♂1頭、♀1頭)を井の頭自然文化園、アカカンガルー(♂1頭)を東武動物公園より搬入。
- 10月 19日 ● カンガルー デニーロ(♂10/18搬入個体)終日落ちついていない様子。リンゴ・甘藷を食している。
- 10月 21日 ● レッサバ ユウタ(♂)新規参入個体 病院で検疫中。前日分の餌完食。笹も1/2本完食。終日落ち着いている。
- 11月 4日 ● カビバラ 部屋間のシュートの結合部が破壊され、全頭が一緒になり闘争。たくみ(♂)が全身にスリ傷、噛み傷があり右前肢付近がひどい。吹き矢により抗生剤投与。
- 11月 5日 ● エミュー ミー タ方収容時、カミナリの音におどろいたのか、展示場を走り回り収容に時間がかかる。
● カビバラ たくみ(♂)昨日の闘争のケガの治療のため麻酔後治療およびレントゲン撮影。
- 11月 6日 ● カンガルー ♀♀室内で同居する。デニーロ(♂)とモモコ(♀)の交尾を確認する。特にトラブルなし。
- 11月 11日 ● カビバラ たくみ(♂)術後初めてうみ(♀)と共に外へ。お互いいつもの定位置で横になる。PM2:20自力で立てなく意識朦朧となる。すぐに寝室へ運び温めるものの、PM3:00前死亡。外傷・打撲等のショックによる衰弱死と思われる。

- 11月 12日 ● リス 新規搬入個体(♂と♀)検疫終了のために、2頭ともリス舎へ移動。移動後は、2頭とも舎内をくまなく動き回り、さっそく糞材集め。貯食行動が見られ、興奮した様子もなく、採食も良好であった。
- 11月 12日 ● キリン リンリン(♀)盛岡市動物公園より搬入。収容後の方が落ち着いた感じだが、ソワソワする草あり。
- 11月 14日 ● キリン PM1:20ジュン(♂)展示場、リンリン(♀)パドックに出す。そのときジュンが外に出ると室内でリンリンが走り回る。収容しようとするが警戒し入らず。餌で誘導すると入る。少し落ち着く。ジュンとの相性はよさそう。
- 11月 18日 ● レッサバパンダ ユウタ(♂)初めて屋外へ。展示場を念入りに臭いをかきまーキング。少し慣れてくると笹を食べたり休憩する。PM2:00頃雨がひどくなってきたので納舎。
- 11月 23日 ● カンガルー ♀を屋外展示場に出そうとしたが、モモコ(♀)がデニーロ(♂)から離れず、トマコとアンズを屋外へ。モモコとデニーロは室内展示。餌食い良好。
- 11月 24日 ● キリン AM10:00~PM3:00までパドック。ジュンが一度フレーメン(臭いに反応して唇を引き上げる生理現象)するが、リンリンへの追尾なし。落ちついて過ごす。リンリンはだいぶ慣れたようだ。
- 11月 27日 ● ユキヒョウ ライサ(♀)動き良い。入室後すぐに馬肉を食す。
- 12月 2日 ● ホンドフクロウ フクジロウ(♂)ヒクニック広場で調教訓練を開始。
- 12月 8日 ● リス 新個体(♀)餌置き場の上に巣を作っていた。元々あった巣箱は、クルミなどの食糧が大量に入っており、貯食のために使用している様子。
- 12月 11日 ● イヌワシ 08年生まれ第2ヒナ捕獲し採血。トローバン(個体識別のためのマイクロチップ)埋め込み。健康チェック。また親と別居させる。
- 12月 20日 ● ニホンザル 今年生まれの子供と母親に入墨。トローバン(個体識別のためのマイクロチップ)差し入れ。
- 12月 27日 ● ビーバー 雪や氷のかたまりを好んで食べる。室内に運んでいる。
- 1月 1日 ● ホンドフクロウ フクジロウ 距離30mで、ひもをつけて飛ばせる。反応がよく、笛を吹かなくても飛ぶ。
- 1月 9日 ● キリン AM10:30~PM3:00までパドックに出す。落ち着いて過ごしている。
- 1月 10日 ● フラミンゴ 午前中、水たまりで水浴びをする個体がいいたため、展示場プールに少し水を張る。数羽水浴びしていた。